



校長室だより

2025

一人一人が輝く
★チーム美川

令和7年9月24日
白山市立美川小学校



白山市美川和波町ワ229
TEL 278-2063

読書が育む子どもの力

校長 中野 和人

秋の気配が深まり、朝夕の風に涼しさを感じる季節となりました。秋といえば「読書の秋」。この言葉の由来は、中国・唐の詩人・韓愈（かんゆ）の「灯火親しむべし」という言葉にあります。秋の夜は静かで涼しく、灯りの下で読書をするのに最もふさわしい時間だという意味です。やがてこの考え方は日本にも伝わり、秋に読書を楽しむ文化が根付いていきました。

現代の子どもたちは、SNSやネット動画など多様な情報に触れていますが、静かな時間に本を開き、物語の世界に入り込んだり、知らなかったことを学んだりすることで、心が豊かになっていきます。学校でも「読書週間」や図書委員会の活動を通して、本に親しむ機会を大切にしています。

白山市では「読育（よみいく）」を教育の重点の一つに掲げ、市内の小中学校に図書館司書を配置しています。読書活動の推進は勿論、児童生徒が情報を探し・選び・活用する力を育てる支援や、調べ学習のサポート、図書館環境の整備などが行われています。

子ども時代（小学生～高校生）に読書することは、心と頭を育てる大切な営みだと考えています。たとえば、物語の中で主人公が悩みながらも前に進む姿にふれることで、「自分もがんばってみよう」と思えるようになったり、動物の本を読んだことがきっかけで図鑑に興味を持ち、知識が増えて自信につながることもあります。

読書は語彙力や表現力を育て、想像力や集中力を高めます。登場人物の気持ちに寄り添うことで共感力や感受性が育ち、友だちとの関わり方にも良い影響が表れます。また、静かに自分と向き合う時間でもあり、お気に入りの本を読むことで心が落ち着き、安心感を得ることもできます。

美川小学校では、「家読の日（うちどくのひ＝家庭読書の日）」を定めています。お話の世界に没入したり、親子で本を手に取り「今日はどんな本を読んだの？」「どこが面白かった？」といった会話を交わしたりすることで、自分の思いや考えを言葉にする力を育んでいきます。

読書は言葉の力を育てるだけでなく、親子の心をつなぐ時間にもなります。忙しい毎日の中でも、ほんの少しの時間を本と過ごすことで、親子の絆も深まることでしょう。

これからも学校と家庭が連携しながら、子どもたちの「心の成長」を支えていければと思います。



保護者・地域の皆様へ

4年生の総合的な学習の時間では、美川地区の湧き水について学習を進めています。

学習を進める中で、子どもたちから「美川地区の大人たちは湧き水についてどのくらい知っているのかな？」という疑問が出てきました。そこで「運動会にてアンケートを実施したい。」と4年生から申し出がありご案内します。ご多用の中とは存じますが、運動会参観の折、ご協力をお願いいたします。

1. 調査内容 美川地区の湧き水に対する意識調査
2. 調査日時 10月2日（木）美川小学校運動会会場※雨天で延期の場合は3日（金）
3. 調査方法 シール投票（ドット・プランニング）
運動会会場に質問ボードを設置します。質問に対する回答だと思う場所にシールを貼ってください。